

北労基発 0822 第1号

平成 30 年 8 月 22 日

各労働災害防止団体の長 殿

北海道労働局労働基準部長



労働災害防止のための取組について

日頃より、労働基準行政の推進につきまして、格別の御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、北海道における死亡労働災害は3月末において昨年同期に迫る状況にあったことから、「死亡労働災害防止のための緊急要請について」（平成30年4月18日付け北労発基0418第2号）により、死亡労働災害の撲滅をはじめとする安全衛生対策の一層の実施について要請したところです。

各労働災害防止団体及び会員事業場の取組の結果、死亡労働災害は別添のとおり4月が1人、5月が2人、6月は0人と一旦は減少傾向を示していました。

しかし、7月は昨年の6人を大幅に上回る10人が亡くなり、8月に入っても21日現在で3人の方が亡くなっているほか、7月末現在の休業4日以上労働災害は昨年同期と比べ、7.7%増加しています。

つきましては、死亡労働災害の撲滅をはじめ、労働災害の増加に歯止めをかけるため、再度、安全衛生活動の総点検を実施するとともに、自主的な労働災害防止活動の継続的な取組について、貴団体の傘下会員事業場に周知徹底を図られますようお願いいたします。

北海道労働基準協会連合会

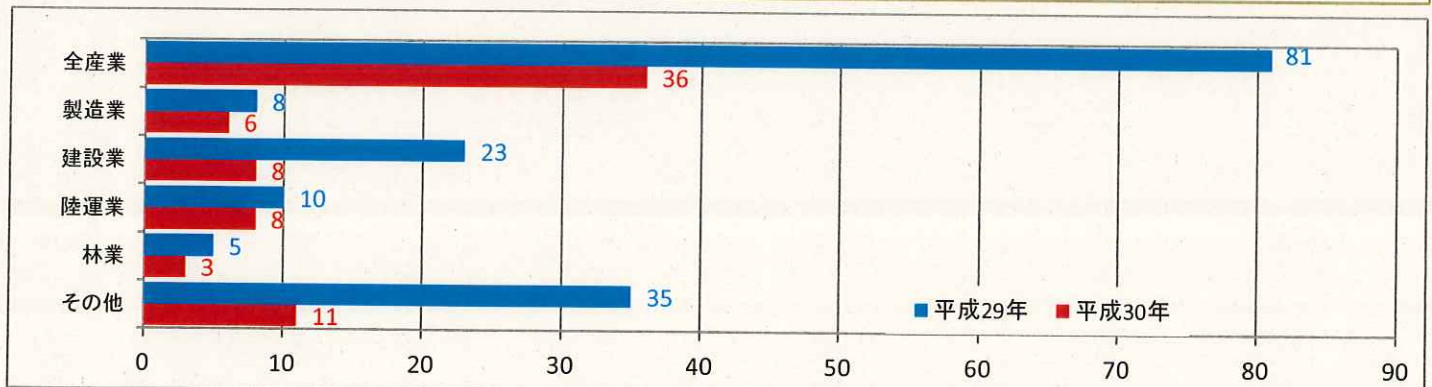
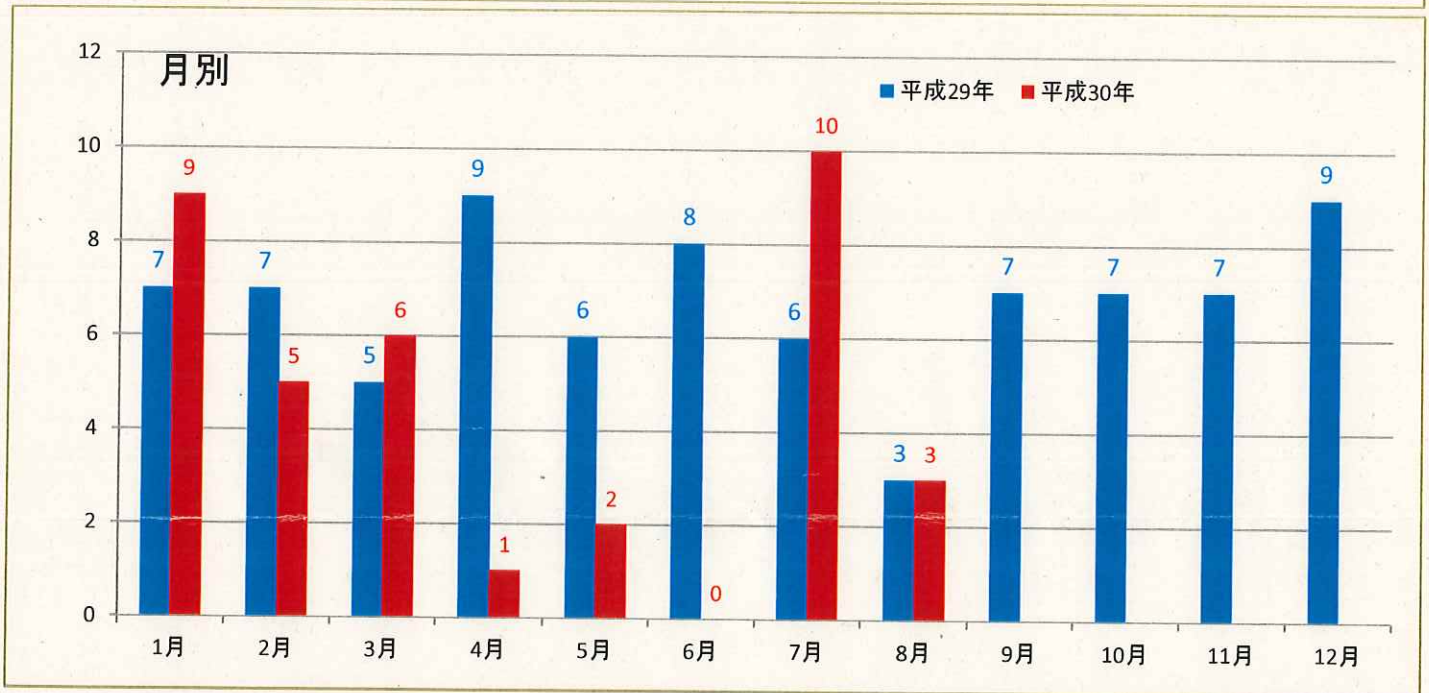
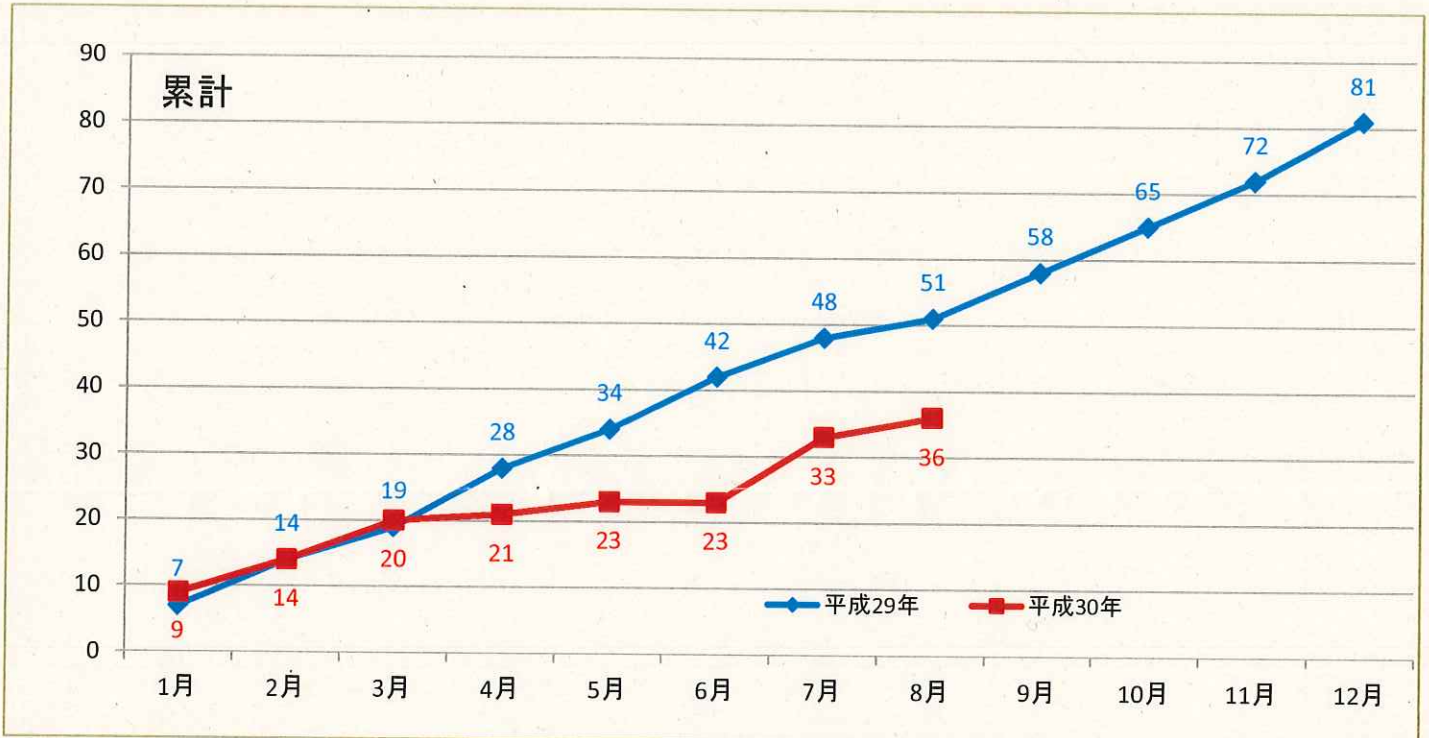
30.8.23

受 付

【担当:主任安全専門官】

北海道内で発生した死亡労働災害(平成30年8月21日現在)速報値

北海道労働局



業種別労働災害発生状況 その1

平成30年1月1日～平成30年7月31日

北海道労働局

業種別	区分	平成30年			平成29年			対前年		業種割合 (%)	平成29年確定		
		死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計		33	3,259	3,292	48	3,010	3,058	234	7.7	100.0	81	6,595	6,676
製造業		5	572	577	7	564	571	6	1.1	17.5	8	1,194	1,202
	食料品	2	282	284	1	273	274	10	3.6	8.6	1	596	597
	木材・家具		63	63		64	64	-1	-1.6	1.9		115	115
	紙・印刷		14	14		13	13	1	7.7	0.4		24	24
	窯業・土石		19	19		31	31	-12	-38.7	0.6		59	59
	金属・機械	2	95	97	3	100	103	-6	-5.8	2.9	4	200	204
	その他	1	99	100	3	83	86	14	16.3	3.0	3	200	203
鉱業	鉱山		2	2				2		0.1		1	1
	土石採取業		9	9	1	9	10	-1	-10.0	0.3	2	19	21
建設業		8	417	425	13	370	383	42	11.0	12.9	23	856	879
	土木工事業	6	133	139	7	131	138	1	0.7	4.2	13	289	302
	建築工事業	1	167	168	1	145	146	22	15.1	5.1	4	322	326
	木造建築業		55	55	1	55	56	-1	-1.8	1.7	2	135	137
	その他	1	62	63	4	39	43	20	46.5	1.9	4	110	114
交通運輸事業			146	146		131	131	15	11.5	4.4	2	271	273
陸上貨物運送事業		7	412	419	5	396	401	18	4.5	12.7	10	826	836
	道路貨物運送	7	388	395	5	365	370	25	6.8	12.0	10	767	777
	陸上貨物取扱		24	24		31	31	-7	-22.6	0.7		59	59
港湾運送業			7	7		5	5	2	40.0	0.2		8	8
林業		3	40	43	3	35	38	5	13.2	1.3	5	94	99
水産業			55	55		57	57	-2	-3.5	1.7	5	142	147
商業		2	518	520	5	431	436	84	19.3	15.8	9	968	977
清掃・と畜業		3	191	194	2	167	169	25	14.8	5.9	2	327	329
上記以外の事業		5	890	895	12	845	857	38	4.4	27.2	15	1,889	1,904

死亡災害については死亡災害速報、休業災害については労働者死傷病報告書(休業4日以上)による
同期間中に把握した件数の前年同期の対比である。

業種別労働災害発生状況 その2

平成30年1月1日～平成30年7月31日

北海道労働局

「上記以外の事業」の内訳

業種別	平成30年			平成29年			対前年		業種割合 (%)	平成29年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
農業	1	39	40	2	45	47	-7	-14.9	1.2	2	120	122
畜産業	1	125	126	2	108	110	16	14.5	3.8	3	235	238
金融・広告業		28	28		27	27	1	3.7	0.9		60	60
映画・演劇業		1	1		1	1			0.0		1	1
通信業		85	85		81	81	4	4.9	2.6		159	159
教育・研究業		22	22		30	30	-8	-26.7	0.7		66	66
保健衛生業		255	255	3	250	253	2	0.8	7.7	3	594	597
接客娯楽業	1	194	195	1	176	177	18	10.2	5.9	1	392	393
その他の事業	2	141	143	4	127	131	12	9.2	4.3	6	262	268
合計	5	890	895	12	845	857	38	4.4	27.2	15	1,889	1,904

「第三次産業」の内訳

業種別	平成30年			平成29年			対前年		業種割合 (%)	平成29年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
商業	2	518	520	5	431	436	84	19.3	15.8	8	968	976
うち小売業	2	433	435	1	346	347	88	25.4	13.2	4	765	769
金融・広告業		28	28		27	27	1	3.7	0.9		60	60
映画・演劇業		1	1		1	1			0.0		1	1
通信業		85	85		81	81	4	4.9	2.6		159	159
教育・研究業		22	22		30	30	-8	-26.7	0.7		66	66
保健・衛生業		255	255	3	250	253	2	0.8	7.7	3	594	597
うち社会福祉施設		189	189	3	182	185	4	2.2	5.7	3	422	425
うち医療保健業		56	56		63	63	-7	-11.1	1.7		158	158
接客・娯楽業	1	194	195	1	176	177	18	10.2	5.9	1	392	393
うち飲食店		66	66	1	82	83	-17	-20.5	2.0	1	176	177
うち旅館業		59	59		43	43	16	37.2	1.8		99	99
うちゴルフ場	1	27	28		21	21	7	33.3	0.9		52	52
清掃・と畜業	3	191	194	2	167	169	25	14.8	5.9	2	327	329
その他の事業	2	141	143	4	127	131	12	9.2	4.3	6	262	268
うち警備業	2	33	35	1	33	34	1	2.9	1.1	1	60	61
合計	8	1,435	1,443	15	1,290	1,305	138	10.6	43.8	20	2,829	2,849

死亡災害速報

(平成30年7月1日～7月31日発生分)

北海道労働局 労働基準部 安全課

発生日	事故の型	起因物	業種規模	災害の状況
7月	崩壊、倒壊	仮設物・建築物・構築物	自動車整備業 10人以上29人	被災者は、修理工場においてダンプトラックの修理中、荷台を上下させる油圧系統に異常を認めため、その荷台装置に給油を始めたところ、突然荷台が上がり、荷台に積んであった堆肥が崩れ落ち、この堆肥に生き埋めとなった。
7月	墜落、転落	仮設物・建築物・構築物	建築工事業 10人未満	被災者は、D型ハウス(鉄骨造)の新築工事において鉄骨の建て方中、ボルトを締めるため、もやを移動した際にもやが折れ、6.4メートル墜落したものの。
7月	崩壊、倒壊	環境等	土木工事業 30人以上49人	被災者は、護岸工事において、盛り土の上にフレコンバッグを置いて仮締切りした箇所に水中ポンプを設置していたところ、川の水で大型土のうの下の盛土が崩れ、土のうの間にはさまれたものの。
7月	交通事故	乗物	土木工事業 10人以上29人	被災者は、工事現場の作業終了後、会社へ戻るため、同僚が運転するライトバンに同乗し移動中、交差点においてダンプトラックに衝突されたものの。
7月	飛来、落下	動力クレーン等	電気通信公事業	送電線工事のロープ回収作業中、鉄塔の掃線腕金に固定した金車が破断して、高さ約51メートルの位置から落下し、被災者の頭部を直撃したものの。
7月	はさまれ、巻き込まれ	建設用機械等	土木工事業 30人以上49人	被災者は、トンネル工事において路盤整地作業中、後退したタイヤショベルに轢かれたものの。
7月	墜落、転落	仮設物・建築物・構築物	ビルメンテナンス業 10人以上29人	被災者は、マンションの窓ふきを行うため、屋上からブランコを設置し、作業しようとしたところ、約25メートルの位置から墜落したものの。
7月	激突され	建設機械等	小売業 10人以上29人	被災者は、客先で乗用給餌機の修理作業を終え、これを牛舎に戻すため運転し走行していたところ、バケットを上げたまま前方を確認せず走行してきたトラクターショベルに激突されたものの。
7月	墜落、転落	環境等	土木工事業 10人以上29人	被災者は、林道建設工事において、法面(勾配約55度)の頂上部で草刈り作業をしていたところ、約20メートル滑落したものの。
7月	はさまれ、巻き込まれ	動力運搬機	陸上貨物業 10人以上29人	被災者は、ダンプトラックの車体と荷台との間にはさまれ被災しているところを同僚に発見されたものの。